

施策の推進方針と展開方向

将来像 1

持続可能で生産性が高い農業・農村の確立



施策の推進方針

頻発する自然災害や病害虫、家畜疾病など農業の持続性を脅かすリスクへの対応を強化し、農地等の農業資源や農業技術を最大限活用して収量の向上を図るなど、持続可能で生産性が高い農業を展開するため、農業生産基盤の整備や優良農地の確保と適切な利用、戦略的な研究開発と普及・定着など生産基盤を強化するとともに、消費者の期待と信頼に応える安全・安心な食料の安定生産や環境と調和した農業を推進します。

施策の展開方向

生産基盤の強化	農業生産基盤の整備の推進	農業の生産力・競争力強化に向けた農業生産基盤の整備、農業水利施設等の保管理、農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策
	優良農地の確保と適切な利用の促進	計画的な土地利用の推進、担い手への農地の利用集積・集約化
安全・安心な食料の安定生産の確保	戦略的な技術開発と普及・定着	新たな技術の開発と迅速な普及、スマート農業の加速化、試験研究・普及・行政の連携による地域支援
	安全・安心な食品づくりの推進	食品の安全性の確保、リスクコミュニケーションの推進、道産食品の適正な情報提供
環境と調和した農業の推進	食料等の安定生産体制の整備	需要に応じた生産体制の強化、農業生産工程管理などの推進、農産物の生産・流通の効率化・合理化、自給飼料生産基盤の強化、農業生産資材の安定供給、防疫対策の推進
	環境保全型農業の推進	クリーン農業や有機農業の推進、農業生産活動に伴う環境負荷の低減
	鳥獣による農作物等被害防止対策の推進	地域における総合的な鳥獣被害防止対策の推進



基盤整備事業によるほ場の大区画化



スマート農業技術の導入によるハウス施設の環境制御



北海道クリーン農業イメージキャラクター「ハタケダ博士&くーりんだね」

取組指標

指標名	現状値	目標値
担い手への農地の利用集積率	91% (H30)	93% (R7)
GNSSガイダンスシステムの累計導入台数	11,530台 (H30)	26,000台 (R7)
国際水準GAP認証取得数	234農場 (H30)	390農場 (R6)
YES!clean農産物作付面積	17,734ha (H30)	20,000ha (R6)

注：H・Rは年度を示す

将来像 2

国内外の需要を取り込む農業・農村の確立



施策の推進方針

食市場の変化やニーズの多様化などに対応して、国内外の需要を喚起し取り込むため、ブランド力の強化や輸出を含む農産物等の販路拡大を図るとともに、地域ぐるみで取り組む6次産業化や関連産業との連携強化など地域資源を活かした新たな価値の創出を推進します。

施策の展開方向

国内外の食市場への販路の拡大	ブランド力の強化	地域の特性を活かしたブランド化の推進、表示や認証などの推進
	農産物等の輸出促進	輸出促進に向けた取組の総合的な推進、輸出に取り組む産地の育成、HACCPなどに対応した生産・流通体制の整備促進
地域資源を活かした新たな価値の創出	地域ぐるみの6次産業化の推進	地域における6次産業化等の推進体制の整備、商品開発や販路開拓、人材育成などの推進
	関連産業との連携の強化	食関連産業、健康長寿・医療関連分野、観光分野との連携



地理的表示(GI)保護制度登録産品



工房チーズの品質向上に向けた地域講習会



全国共進会に向けてブランド力を磨く北海道和牛



6次産業化に取り組む人材の育成

取組指標

指標名	現状値	目標値
道産食品独自認証制度の認証数	52商品 (H30)	100商品 (R5)
道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の輸出額	72億円 (h30)	125億円 (r5)
6次産業化の取組による年間販売金額	2,189億円 (H30)	2,370億円 (R5)

注：H・Rは年度、h・rは暦年を示す

施策の推進方針と展開方向

将来像 3

多様な人材が活躍する農業・農村の確立



施策の推進方針

農業・農村に多様な人材が定着し活躍できるよう、家族経営をはじめとする農業経営体の経営安定・発展とともに、新規就農者や経営感覚を備えた農業経営者、地域をリードする女性農業者など農業経営を担う人材の確保・定着、営農支援組織や農業団体など地域で経営体を支える組織の育成・強化を図ります。また、他産業と遜色のない誰にとっても働きやすい環境を整え、地域農業を支える多様な人材の受入を進めるとともに、所得と雇用機会の確保や生活環境の整備など快適で安心して暮らせる生活の場づくりを推進します。

施策の展開方向

農業経営体の安定・発展	家族経営などの経営体質の強化	生産基盤の強化や農業経営の法人化の推進、セーフティネット対策や経営所得安定対策などの推進、新型コロナウイルス感染症における事業継続対策の推進
	組織経営体の育成・発展	地域農業の法人化や経営の多角化、企業の農業参入や農業関係者との連携推進
農業経営を担う人材の確保・定着	新規就農者の育成・確保	職業としての農業への関心の喚起、研修教育や就農支援の推進、円滑な経営継承の推進
	経営感覚を備えた農業経営者の育成	就農後の経営安定と地域への定着促進、経営力・技術力の向上
	地域をリードする女性農業者の育成	女性が能力を発揮できる環境づくりの推進
地域で経営体を支える組織の育成・強化	営農支援組織の育成・強化	経営体を支えるシステムづくりの推進、安定的な運営と人材の確保
	農業団体の機能の充実	農業協同組合、農業委員会、農業共済組合及び土地改良区の機能の充実
地域農業を支える多様な人材の活躍	誰にとっても働きやすい環境づくりの推進	他産業と遜色のない働きやすい環境づくりによる経営の成長促進
	多様な人材の受入	他産業などとの連携による雇用人材や外国人材の受入、農福連携の推進
快適で安心して暮らせる生活の場づくり	所得と雇用機会の確保	地域の特色を活かした営農と所得の確保、地域資源を活かした所得と雇用機会の確保、バイオマスなどの利活用の推進
	快適で安全な生活環境の整備	農村地域の生活環境の整備や農業水利施設の安全対策・防災対策の推進

取組指標

指標名	現状値	目標値
指導農業士の女性の割合	8.9% (H30)	25.0% (R7)
農村ツーリズムの受入活動実践農家の割合	7.2% (H30)	7.5% (R4)
防災重点ため池のハザードマップの策定割合	51% (H30)	100% (R6)

注：H・Rは年度を示す

将来像 4

道民の理解に支えられる農業・農村の確立



施策の推進方針

農業・農村に対する道民理解を促進し、本道の農業・農村を貴重な財産として育み、将来に引き継いでいくため、食育や地産地消など愛食運動の総合的な推進や、多面的機能の発揮などに向けて地域住民が一体となって進める活力ある農村づくり、都市・農村交流や農業・農村の魅力の発信など道民コンセンサスの形成促進を図ります。

施策の展開方向

愛食運動の総合的な展開	食育の推進	健全な食生活の実践などに向けた食育の総合的な推進
	地産地消の推進	道産農産物等の地産地消・利用転換の推進と関連産業における活用促進、消費者と農業者の結び付きの強化
地域住民が一体となって創る活力ある農村	地域住民による農村づくり	地域住民活動の活性化、多様な人材の活躍による地域課題の解決
	多面的機能の発揮促進	地域住民なども参加した共同活動の推進、多面的機能を発揮する環境づくりの推進
道民コンセンサスの形成	都市・農村交流の促進	農業・農村に対する理解の促進、関係人口の創出・拡大
	農業・農村の魅力の発信	特色ある地域の魅力の発信、学習機会の充実



道産食材を使用したこだわり料理を提供する飲食店などを認定



地域ぐるみで取り組む「農村ツーリズム」



都市住民との交流活動に意欲的な農業者を登録



地域住民と農業者との交流拠点となる直売所



多面的機能を支える共同活動



農業・農村の魅力を発信する情報誌「confa(コンファ)」

取組指標

指標名	現状値	目標値
食育推進計画を作成している市町村数	123市町村 (H30)	全市町村 (R5)
北海道米の道内食率	87% (H30)	85%以上 (R7)
多面的機能支払の取組面積	768千ha (R1)	768千ha (R7)
ふれあいファームに登録している農家の割合	2.5% (H30)	2.8% (R7)

注：H・Rは年度、h・rは暦年を示す